

外来・在宅機能を備えた都市型診療所

⑫⑨ ドクターランド幕張 (千葉県千葉市)



「Doctor Land」の大きな文字が目を引く入口

イオンが本社を置く千葉県千葉市美浜区。そのお膝元に2013年12月開業したのが日本最大級のショッピングモール「イオンモール幕張新都心」。敷地内に展開する四つのショッピングモールの中でも最大の「ランドモール」は、蔦屋書店や銀座千疋屋などがあり、ファミリー層より少し上の世代が対象だ。

ドクターランド幕張は同モール1Fに同年開院した。デザインのコンセプトは「モダン」。院内は白を基調にしており、清潔でおしゃれな雰囲気。約1100平方mと診療所にしては広い。小児科は感染症予防

のため、乳腺外科は女性のプライバシーに配慮し、それぞれ専用の待合室を設置。待ち時間を少しでも短縮するため、電話一本で予約を受け付けている。

運営するのは医療法人白報会グループ。2000年に発足して以来、在宅医療を中心に据えて事業を拡大。現在、病院や診療所、薬局、介護施設など33事業所を首都圏中心に展開してきた。そのうち、外来と在宅の機能を併せ持ち、商業施設内に設けられた「ドクターランド」と称する診療所が四つあるが、ドクターランド幕張は最も機能が充実している。



明るくおしゃれなデザインの総合受付



一通りの器具や機器を備えたリハビリ室



小児科の待合室兼キッズスペース。感染症患者はモール通路から小児科隔離室に直接入れる



小児専用の小さなトイレを備えている



人間ドックや脳ドックに対応できるMRI



最新設備を備え、ゆったりしたスペースの歯科

20科目もの診療科を標榜し、中にはひょうぼう 歯科・小児歯科・口腔外科といった病院にもないような診療科や脳神経外科などもそろえている。年中無休で、平日だけでなく土日曜、祝日も午後9時30分まで診療している。外来患者は1日250～300人。ブロック長の坂本祐子さんは「患者様の年齢層は幅広く、併科受診(1日に二つ以上の診療科を受診)が多いのもドクターランド幕張の特徴」と話す。

また、在宅医療部を設け、近隣の病院や地域の訪問介護ステーション、ヘルパーステーションなどと連携体制を構築、通院が困難な患者や終末

期の患者などを対象に24時間、365日の訪問診療も行っている。大腸内視鏡や16列マルチスライスCT、MRIなど高度な医療検査機器も導入。人間ドックや脳ドックに対応している他、千葉市の特定健康検査や後期高齢者健康検査、企業健診も積極的に受け付けている。

イオンモール幕張新都心の従業員は約6000人。ドクターランド幕張はその従業員の子供たちを預かるモール内保育園の園児の健康を診たり、都市型の地域医療の担い手としてモデルのような存在になりつつある。